

フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

今日5月20日は森林(もり)の日、森林の文字は「木」が5つ、総画数が20であることから、制定された記念日だ。森林の風が運ぶ

香りが心地よいのは気のせいではなく、木々がフィトンチッドと呼ばれる芳香成分を放っているためだ。このフィトンチッドは植物が自身を病害虫から守るための成分で、人体に対してもリラックス

優・中村玉緒トークショー」聴講のために車で松本に向う。沿道を飾るようにチューリップの花が咲き誇る。細見綾子さんの詩「チューリップ 喜びだけを 持っている」。チューリップはどの花

待した席は来賓用として場所取りされたスタイルに残念だとの声が聞こえてきた。顧客重視を重んじる企業理念に反していないかと心配になってしまふ。第一部は松本市からの「健康」お知らせ。介

人の名家育ち。映画などで受賞歴豊富であり、また私生活の出来事でも知られた方でもある。60分間どんな話を聞けるのかと期待する。舞台には小さなテーブルとイス2脚。司会者・西寄ひがしさ

「今日の事は、今日で忘れる」の生き方に学ぶ

効果や抗菌作用などがある事は科学的にも認められている。心身の健康維持のためにもこの機会に森林浴に出掛けてはどうだろうか。

5月中旬、まつもと市民芸術館で開催された松本信用金庫創立100周年記念講演「女

も上を向いて歌っているような、あけっぴろげな印象は、明るい玉緒さんを連想させる。著名な中村玉緒さんの講話を期待して聴方や視力が心配な高齢の聴講者は、舞台上に近い席を期待して入場口には長蛇の列。しかし期

護予防の観点からの老年医学分野で注目されている「フレイル」の内容は興味深かった。ゲストの中村玉緒さんは、死別した夫が勝新太郎さん。父は中村鷹次郎さん、義兄の若山富三郎さん、義姉の扇千景さんなどの著名

んと進められたトークショー。「今日の事は、今日で忘れる」が印象に残る。夫の残した借金14億円の完済までの人生の苦難から学び取った人生観なのか、良家育ちゆえのおおらかさなのかと思いを馳せてしまふ。

話の中に「明石家さんま」の名前が出てくる。「お母さん」と呼ばれているのがうれしいと語る笑顔に本当に苦難の時に助けていたのだと伝わってくる。天真爛漫な82歳



物価高の影響か野菜苗の販売が例年以上だ

(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)